

高知県感染症発生動向調査（月報）

2020年7月

高知県感染症情報センター

高知県衛生環境研究所

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>

E-mail: 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第27週(6月29日～)から第31週(～8月2日)までの5週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における7月の上位6疾患の合計は4週間に換算すると16.62で6月の13.98と比べて増加した。新型コロナウイルス対策としての自粛や衛生管理により、4月・5月は感染症が極度に減少していたが、6月・7月は自粛の緩和とともに感染症が増加した。上位6疾患のうち突発性発疹を除いて全て増加した。

1位は感染性胃腸炎で4週間換算値が8.27(6月1位7.10)、2位がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で3.42(同2位3.00)と少し増加した。3位が突発性発疹で2.16(同3位2.22)と横ばいだった。4位がヘルパンギーナで1.31(同8位0.32)と大きく増加した。5位が流行性角結膜炎で0.78(同4位0.68)、6位が咽頭結膜熱で0.68(同5位0.51)と小幅な増加を示した。

〈新型コロナウイルス感染症 COVID-19〉

3月11日/4月7日/5月11日/6月2日/7月1日/8月5日と約1か月間隔でみていくと、世界の患者数は(図1左)、12万人/130万人/400万人/620万人/1,040万人/1,850万人、死亡者が4,611人/73,648人/281,312人/374,527人/510,940人/700,368人と増加しており、パンデミックの呼び名とおりに全世界に拡がり、感染拡大の加速度は未だ増大している。冬季を迎える南半球でその勢いは強く、国別患者数の上位10位のうち4カ国までを南半球が占めるまでとなった。

日本の患者数は(図1右)、568人/3,906人/15,798人/16,930人/18,723人/41,129人と5月・6月は増加に歯止めがかかったものの、自粛緩和を契機に感染拡大が加速した。従来流行がみられた季節性コロナウイルス感染症と同様に夏季には流行が縮小するかもしれないという楽観的展望は夢と消えた。

一方で、国内の死亡者は12人/80人/621人/894/974人/1,022人と推移し、感染者数の割に死亡者数が増えていない。図2に感染拡大がいったん停滞した6月10日時点まで、図3に直近の8月5日までの感染者を年代層別に集計した表を示す。両図を比較すると、6月に比べて8月は20代を中心とした若年層の感染者が増加している。一方重症化しやすい高齢者層の感染者数は相対的に減少している。また、年代別の死亡率は(図2と3の右)、6月時点も8月時点も同様で、80代以上が20%強、70代が10%強、60代が3.6%とあまり変化がない。

以上のことから、感染が高齢者層に拡がっていないことで感染者数が激増しても死亡者数の増加が緩やかになり、概ね医療崩壊が回避できていると考えられる。この数か月の間にウイルスが弱毒化しているのでは決していない。

夏季休暇・お盆休みで、都会から地方へと人の往来があれば、高齢者が感染を受ける機会が増えると予想される。感染が再び高齢者を巻き込む構図になったとき、次に訪れる重症例増加、すなわち医療崩壊の危機到来であろう。ここからが正念場と認識し、手綱を締めるべきと思われる。

〈風疹〉

2018年からの風疹流行がようやく終息しそうである。風疹は2018年に累積で2,941例、2019年には2,306例が報告された。2020年第11週までの報告数は69人で、第12～16週に7人、第17～19週に1人、第20～24週に2人、第25～29週に5人ととどまった。コロナ自粛の副産物であったろう。予防接種機会がなかった40～57歳の男性を対象に、抗体検査を前置きした上での定期接種(第5期と呼ばれ、麻しん風しん混合ワクチンが使用される)が2019年4月から実施中なので、対象者はこの機会を活用してほしい。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	週	27週	28週	29週	30週	31週	計
1	感染性胃腸炎		2.06	2.17	2.25	1.74	2.12	10.34
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.92	0.99	0.94	0.71	0.71	4.27
3	突発性発疹		0.57	0.57	0.54	0.49	0.53	2.70
4	ヘルパンギーナ		0.20	0.23	0.35	0.40	0.46	1.64
5	流行性角結膜炎		0.20	0.19	0.19	0.16	0.24	0.98
6	咽頭結膜熱		0.15	0.16	0.18	0.16	0.20	0.85

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

高知県の7月の上位6疾患の合計は4週間に換算すると14.41で6月の11.92と比べて増加した（表2）。その理由は、全国と同様に、新型コロナ対策の自粛緩和による増加だろうが、増加幅は小さい。上位6疾患のうち4疾患が少しずつ増加した。

1位は感染性胃腸炎で5.75（6月1位5.15）と増加したが全国よりも少なかった。2位は手足口病で2.89（同4位1.08）と増加し、全国よりも多かった。3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で1.97（同2位2.36）、4位は突発性発疹で1.62（同3位2.07）と少し減少し、全国よりも少なかった。5位は咽頭結膜熱で1.26（同6位0.50）、6位はマイコプラズマ肺炎で0.92（同5位0.76）と増加し、いずれも全国よりも多かった。

COVID-19は、高知県では、2月29日～3月8日に12例が報告され、その後19日間は報告が途絶えた。第2波は3月27日に始まり、連日新規患者が報告され4月29日までに62例が加わり、合計74例になった。4月16日から5月14日まで本県を含む全国に緊急事態宣言が発せられた。本県は5月14日以降に、学校、公共機関、飲食等の活動が再開され、全国の感染拡大の中、他県と比べて経済重視すなわち人的往来に寛容な対応をとっているといえるだろう。7月13日～8月7日に9例の患者発生があり、夏休み・お盆休みを迎え、さらなる感染拡大が危惧される。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	27週	28週	29週	30週	31週	計
1	感染性胃腸炎		1.29	1.25	1.43	1.43	1.79	7.19
2	手足口病		0.46	0.29	0.93	0.79	1.14	3.61
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.54	0.68	0.46	0.39	0.39	2.46
4	突発性発疹		0.32	0.46	0.32	0.54	0.39	2.03
5	咽頭結膜熱		0.14	0.18	0.39	0.43	0.43	1.57
6	マイコプラズマ肺炎		0.13	0.13	0.13	0.63	0.13	1.15

	公表日時	年代・性別	管轄保健所	職業	備考
75例目	7月13日	20歳代・男性	中央西	スポーツ選手	
76例目	7月16日	30歳代・女性	幡多	無職	
77例目	7月22日	40歳代・男性	高知市	自営業	
78例目	7月24日	80歳代・女性	中央西	無職	
79例目	7月26日	30歳代・男性	中央東	会社員	78例目の濃厚接触者
80例目	7月28日	30歳代・女性	高知市	無職	77例目の濃厚接触者
81例目	8月2日	60歳代・男性	高知市	飲食店勤務	
82例目	8月3日	50歳代・女性	高知市	サービス業	81例目の濃厚接触者
83例目	8月7日	70歳代・女性	高知市	無職	

図1. 2020年8月5日時点のCOVID-19（厚生労働省）

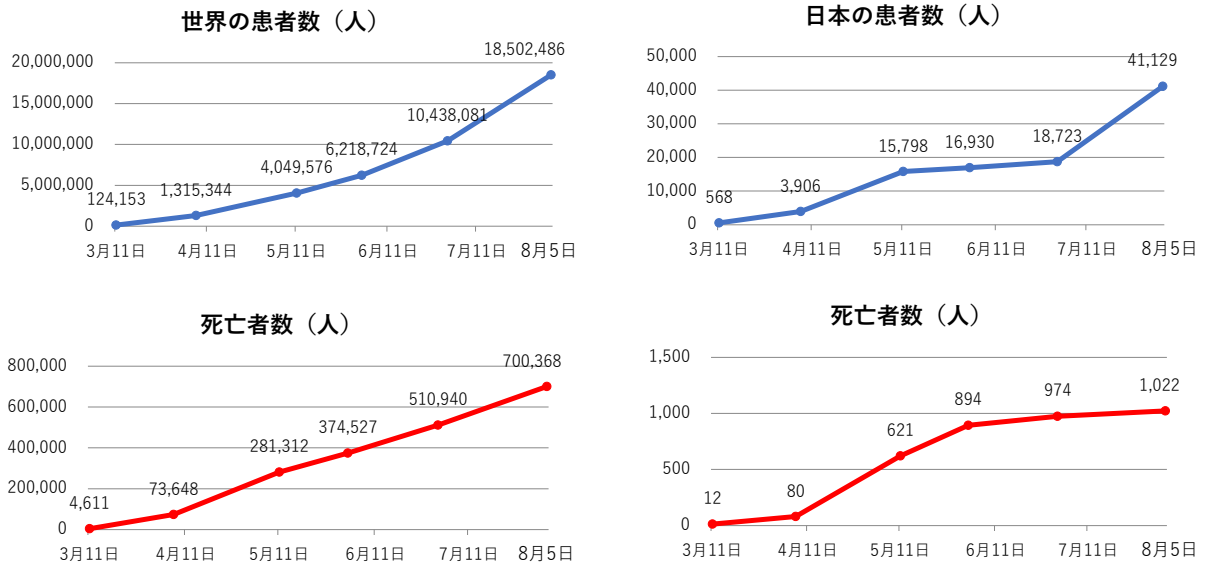


図2. 2020年6月10日時点の集計（厚生労働省HPより抜粋）
<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/000639025.pdf>

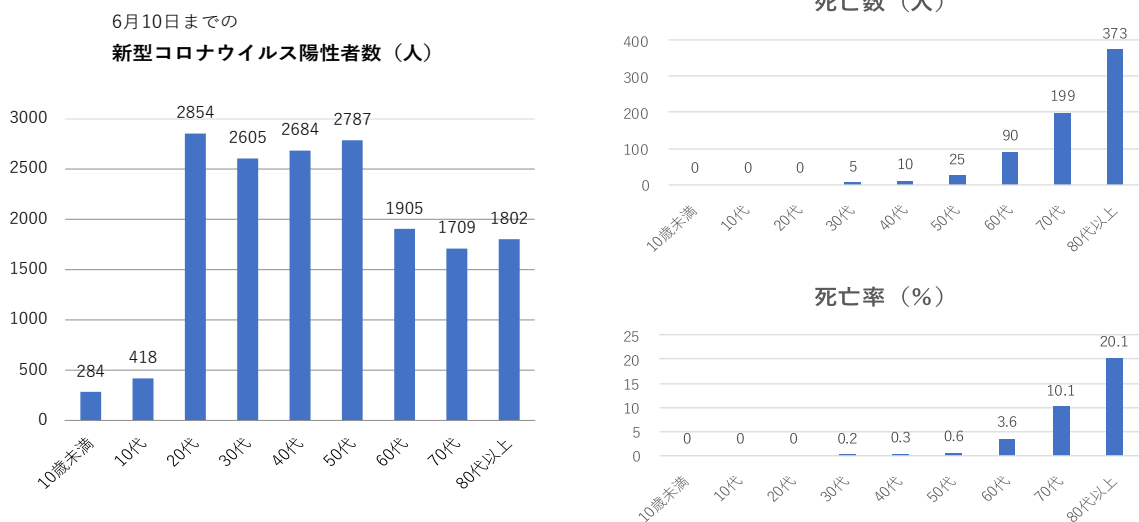
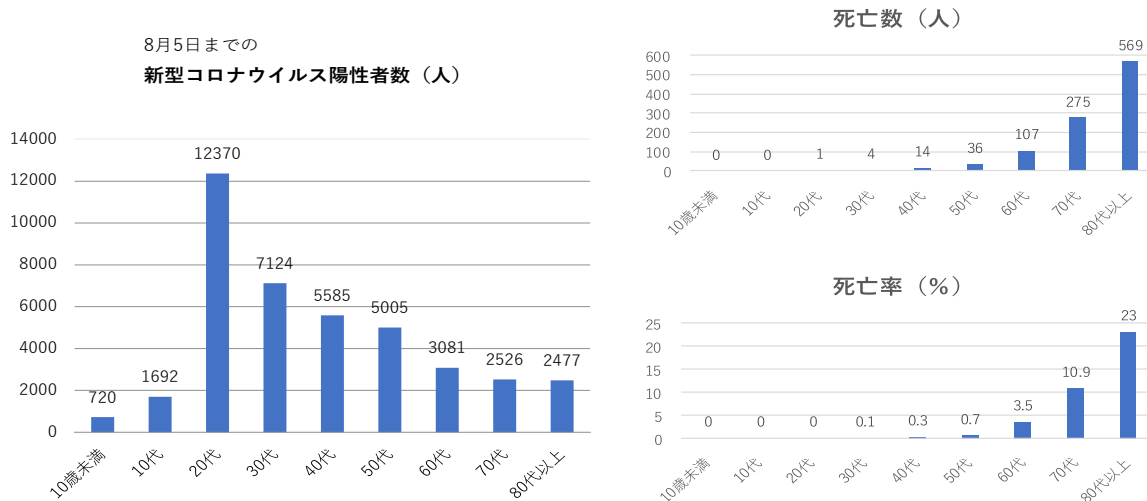


図3. 2020年8月5日時点の集計（厚生労働省HPより抜粋）
<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/000657357.pdf>



2. 全体の傾向

麻疹、風しんの報告無し。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 0名 (6月 0名)。対コロナの自粛も手伝い小さな流行に終わり終息した。

2) 咽頭結膜熱

報告数 44名 (6月 14名)。例年並の報告数である。高知市、幡多、中央東、須崎から表記の順に多く報告があった。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 69名 (6月 66名)。2019年9月から2020年2月にかけて多い数字で推移したが、3月以降は減少し例年並みに落ち着いている。県下全域から報告され、特に高知市、須崎から報告が多かった。

4) 感染性胃腸炎

報告数 201名 (6月 144名)。もともと少ない数字で推移し、2月に増加して平年並みとなっていたが、3月以降は、過去10年で最低の報告数で推移している。県下全域から報告があり、特に高知市、安芸、幡多の順に多かった。

5) 水痘

報告数 29名 (6月 11名)。2014年10月からの予防接種定期化の効果で少ない数で推移している。中央西以外の全地域から報告された。

6) 手足口病

報告数 101名 (6月 30名)。2019年2月に流行が終息していたが、5月から流行が始まり大流行となった。8月以降は減り続けていたが12月は横ばい、2020年は1月、2月と減少を続け終息に向かうかとみえたが3月以降は報告数が波打ちながら推移していた。6月以降に増加が続いたが流行規模は大きくない。安芸以外から報告され、特に多かったのは中央西、高知市、中央東と須崎である。

7) 伝染性紅斑

報告数 12名 (6月 13名)。2019年7月以降は多い報告数で推移している。特に10月は過去10年間で最多の報告数(時期を問わず)を記録した。中央西、幡多、中央東、高知市から表記の順に多く報告された。

8) 突発性発疹

報告数 57名 (6月 58名)。想定内の変動で推移している。

9) ヘルパンギーナ

報告数 15名 (6月 9名)。5月以降小幅な増加で本格的な流行には至っていない。高知市、中央東、幡多、中央西から表記の順に多く報告された。

10) 流行性耳下腺炎

報告数 7名 (6月 5名)。高知市、須崎から表記の順に多く報告された。

11) RSウイルス感染症

報告数 0名 (6月 2名)。2020年は3月以降減少し少数にとどまっている。過去3年続けて流行開始が早く、8月の報告数は2017年以降、270名、126名、233名と多い数字で推移し、従来に比べて流行時期が1カ月程度早まる傾向が続いた。今年はコロナ自粛の効果もあってか、RSウイルス流行の気配はまだない。

12) 流行性角結膜炎

報告数 2名 (6月 0名)。高知市から2名報告された。

13) 細菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（6月 1名）。1年に10名前後の報告で推移していたが、2017年6名、2018年5名、2019年2名と減少傾向である。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因とする小児例の報告は皆無であり、成人例も近年減少している。

14) 無菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（6月 1名）。年間20-30名台の報告数で推移していたが、2017年7名、2018年1名、2019年5名、2020年は1名と報告が少ない。

15) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 9名（6月 6名）。高知市から8名、中央東から1名が報告された。

基幹定点の月報疾患

16) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 23名（6月 11名）。平年並の推移である。高知市、中央東、安芸の順に多く報告された。

17) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名（6月 0名）。2014年は計4例、2015年、2016年は各1例、2017年は2例、2018年は1例、2019年は2例の報告があり、2020年は0例である。

高知県感染症発生動向調査部会

前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患（令和2年7月）

類型	病名	報告月							総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
2	結核	5	5	8	3	6	9	3	39
4	重症熱性血小板減少症候群			1	1	1			3
	日本紅斑熱				5	6	3	4	18
	レジオネラ症	1					1	2	4
5	ウイルス性肝炎						1		1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		2		1			4
	急性脳炎		1						1
	クロイツフェルト・ヤコブ病							1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1							1
	後天性免疫不全症候群	2				1			3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1			1
	侵襲性肺炎球菌感染症	5	1	2			1		9
	水痘（入院例に限る）	1				1		1	3
	梅毒	1		3	3	3			10
	破傷風		1			1			2
	百日咳	9	8	7	4	1	1	1	31
指定感染症	新型コロナウイルス感染症			12	36	26		2	76
	総計	26	16	35	52	48	16	14	207

高知県感染症情報 月報(63定点医療機関)

2020年

7月

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ									
小児科	咽頭結膜熱		7	27		1	9	44	14	63
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	11	40	3	6	8	69	66	178
	感染性胃腸炎	17	29	99	14	5	37	201	144	268
	水痘	3	13	9		1	3	29	11	26
	手足口病		32	43	15	8	3	101	30	1,174
	伝染性紅斑		1	1	8		2	12	13	109
	突発性発疹		10	16	7	8	16	57	58	40
	ヘルパンギーナ		4	8	1		2	15	9	252
	流行性耳下腺炎			6		1		7	5	5
	RSウイルス感染症								2	40
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			2				2		3
STD	性器クラミジア感染症								2	1
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ			1			2	3	1	
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎								1	
	無菌性髄膜炎								1	
	マイコプラズマ肺炎		1	8				9	6	13
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに 限る)			1				1		1
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	3	19				23	11	39
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計		22	111	280	48	30	82	573	374	2,212
前月		15	78	177	23	21	60			
前年同月		103	401	855	157	159	537			
小児科定点数		2	7	9	3	2	5			

高知県感染症情報 月報(63定点医療機関)

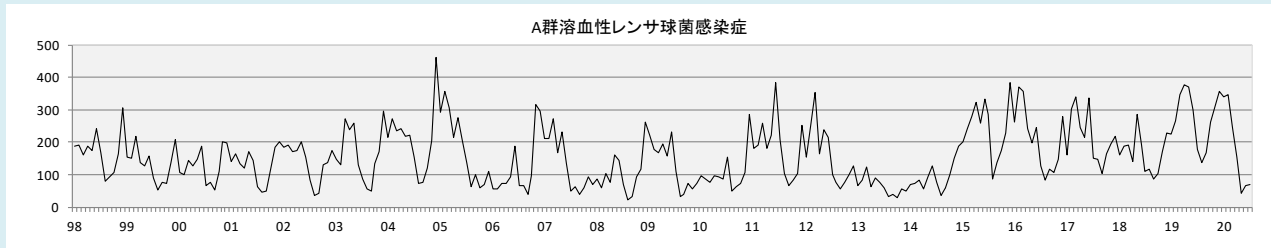
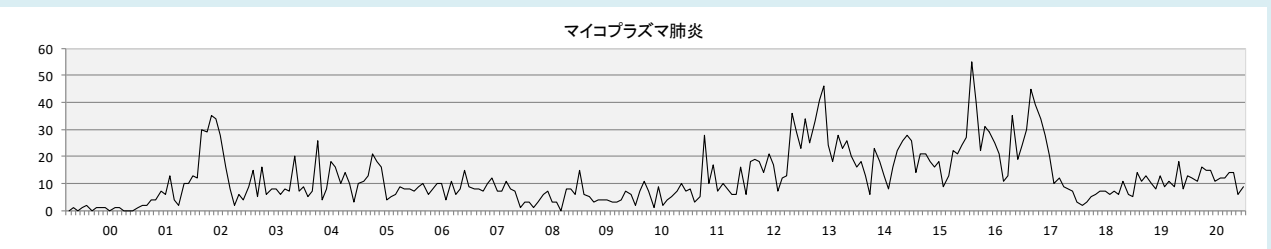
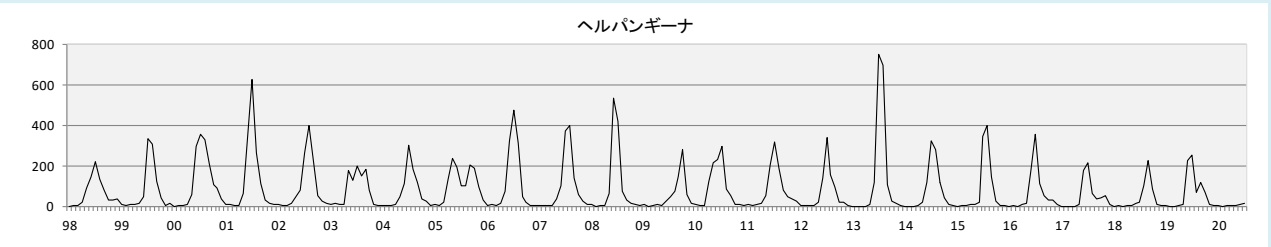
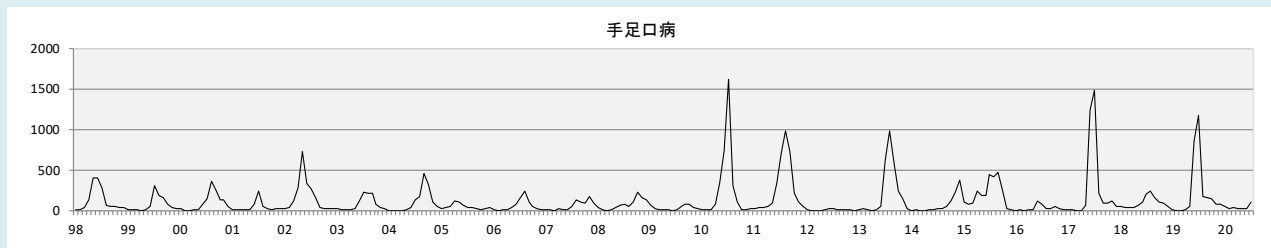
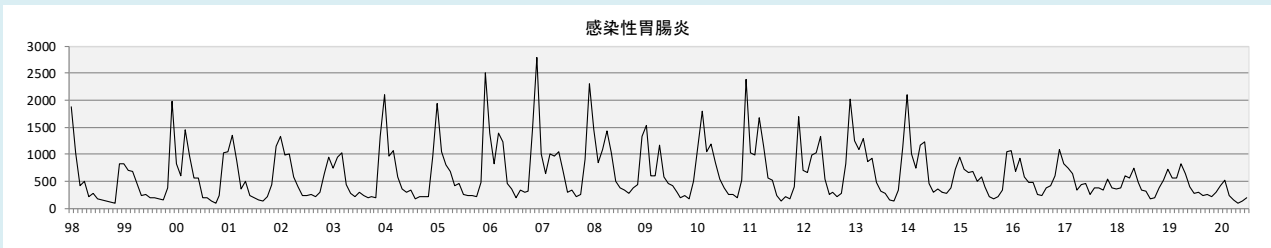
2020年

7月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ									
小児科	咽頭結膜熱		0.99	3.00		0.50	1.80	1.57	0.50	2.10
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	1.57	4.45	0.99	3.00	1.60	2.46	2.36	5.94
	感染性胃腸炎	8.50	4.14	10.99	4.66	2.50	7.40	7.19	5.15	8.94
	水痘	1.50	1.86	1.00		0.50	0.60	1.03	0.40	0.86
	手足口病		4.57	4.77	5.00	4.00	0.60	3.61	1.08	39.14
	伝染性紅斑		0.14	0.11	2.67		0.40	0.43	0.47	3.63
	突発性発疹		1.44	1.76	2.33	4.00	3.20	2.03	2.07	1.33
	ヘルパンギーナ		0.57	0.88	0.33		0.40	0.53	0.32	8.40
	流行性耳下腺炎			0.66		0.50		0.25	0.18	0.16
	RSウイルス感染症								0.07	1.34
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			2.00				0.66		1.00
STD	性器クラミジア感染症								0.33	0.17
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ			0.50			1.00	0.50	0.17	
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎								0.13	
	無菌性髄膜炎								0.13	
	マイコプラズマ肺炎		1.00	1.60				1.15	0.76	1.63
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)			0.20				0.13		0.13
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.00	3.00	3.80				2.88	1.38	4.88
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		10.50	15.28	27.62	15.98	15.00	16.00	19.10	12.60	71.84
前月		7.00	10.58	18.00	7.66	10.50	11.60			
前年同月		44.00	56.72	74.44	52.31	79.50	107.00			

注目される疾患別月別推移



高知県感染症情報（月報）

2020年7月

検査情報

ウイルス、細菌の分離状況

7月はウイルス 25件の搬入がありました。また、2020年2月に搬入された検体でウイルス 7件を、3月に搬入された検体でウイルス3件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Human herpes virus 6 1件、Human herpes virus 7 1件、Human metapneumo virus 1件、Mumps virus 2件、Norovirus GI NT 1件、Norovirus GII NT 1件、Rhinovirus 2件、Varicella-zoster virus 1件であった。

ウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	5	女	水痘	37°C,発疹,	ぬぐい液	2/4	Varicella-zoster virus
2	6	女	流行性耳下腺炎	—	ぬぐい液	2/8	Mumps virus
3	2	男	急性気管支炎	40°C,咳嗽,	鼻腔	2/12	Rhinovirus
4	4	女	流行性耳下腺炎	—	ぬぐい液	2/17	Mumps virus
5	5	男	水痘?	36°C,腹痛,発疹,	ぬぐい液	2/21	Human herpes virus 6
6	1	男	川崎病の疑い	39°C,咳嗽,上気道炎,発疹,	ぬぐい液	2/24	Rhinovirus
7	4	男	水痘	37°C,水疱,	ぬぐい液	2/25	Human herpes virus 7
8	2	女	肺炎(ヒトメタニューモ)	40°C,咳嗽,下気道炎,	ぬぐい液	2/25	Human metapneumovirus
9	4	男	感染性胃腸炎	38°C,嘔吐,嘔気,腹痛,	ふん便	2/28	Norovirus GII NT
10	3	男	感染性胃腸炎	37°C,下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	2/29	Norovirus GI NT

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2020年							2020年総
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1		1						1
	計		1						1
インフルエンザ	Adenovirus 1	1							1
	Influenza virus A H3 NT								
	Influenza virus A H1pdm09	27	8						35
	Influenza virus B /Victoria	3	4						7
	Herpes simplex virus 1	1							1
	Rhinovirus	1							1
	計	33	12						45
咽頭結膜熱	Adenovirus 3	1							1
	計	1							1
感染性胃腸炎	Coxsackievirus B5	1							1
	Norovirus GI NT			1					1
	Norovirus GII NT	2	7	1					10
	Rotavirus group AG9		1						1
	Sapovirus genogroup unknown		1						1
	計	3	9	2					14
手足口病	Coxsackievirus A16	13	1						14
	計	13	1						14
伝染性紅斑	Human herpes virus 6		1						1
	Human herpes virus 7	1	1						2
	Human parvovirus B19	1							1
	Rhinovirus								
	計	2	2						4
流行性耳下腺炎	Mumps virus	2	2						4
	Mumps virus(ワクチン株)								
	計	2	2						4

臨床診断名	病原微生物	2020年							2020年総
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
無菌性髄膜炎	Coxsackievirus B4								
	Coxsackievirus B5	1							1
	計	1							1
水痘	Human herpes virus 7		1						1
	Varicella-zoster virus		2						2
	計		3						3
突発性発疹	Human herpes virus 6		1						1
	計		1						1
その他	Adenovirus 1	2							2
	Coxsackievirus A4	1							1
	Coxsackievirus A16	1	1						2
	Echovirus 30		1						1
	Epstein-Barr virus		1						1
	Human herpes virus 6	6	6						12
	Human herpes virus 7	4	1						5
	Human metapneumovirus		2						2
	Human parvovirus B19	1							1
	Influenza virus A H1pdm09	2							2
	Influenza virus B /Victoria	1							1
	Norovirus GII NT		1						1
	Respiratory syncytial virus A	1	2						3
	Rhinovirus	2	1	1					4
Sapovirus genogroup unknown	1							1	
計	22	16	1					39	
総計		77	47	3					127

類型	病名	報告年																			総計					
		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017		2018	2019	2020		
2	結核									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	39	1789		
	計									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	39	1789		
3	コレラ	1				1							1											3		
	バラチフス	2																						2		
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2											2				27		
3	腸チフス		1						1									1					1	4		
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	2	34	2	4	4	9	206		
	計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	34	4	4	4	10	242		
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1			3											2	34	
	Q熱	1	1	2				1																	5	
	オウム病			1		1															1				3	
	つつが虫病		9	5	2	4	5	7	6	2	5	4	2	5	8	3	3		4	11	2	3			90	
	マラリア								2					1										1	4	
	レジオネラ症		2		1		1				9	7	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	4		77	
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	18		190	
	日本脳炎	1	1	1					1			1	1												6	
	レプトスピラ症											1	4	2	1						1					9
	E型肝炎											1		1										2	4	
	デング熱												1				3	2	1					2	9	
重症熱性血小板減少症候群																3	11	3	7	5	5	9	3	46		
計	20	21	26	12	23	21	19	16	4	20	19	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	25		477		
5	アメーバ赤痢		2	2	2	1	2	2	2	1		3	2	2	3		7	3	2	5	3	3			47	
	ウイルス性肝炎	11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3				1			2	1	1	1		59	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症																	7	19	21	22	21	20	4	114	
	急性弛緩性麻痺																					1	2		3	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	4		4	3	3		6		1	3				2			2	1	1	1		33	
	ジアルジア症		1	2	1									1	1							1			8	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1								1									1	1			5	
	急性脳炎								1	1	2	5	1	3	1		1	1	1	1		2	1		21	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	1	1				1	1	1	1	1	3	1		1	3	5	6	2	1		27	
	後天性免疫不全症候群	2		2		2	4	2	3	6	3	3	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	3		78	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症																1	5	3	4	7	3	1		24	
	侵襲性肺炎球菌感染症														1	4	12	16	18	14	22	9			96	
	水痘(入院例に限る)																	2	1	1	3				10	
	播種性クリプトコックス症																			1	3	5				9
	髄膜炎菌性髄膜炎										1															1
	破傷風		3	2	2	1		1	1	2	3	1	1	1	1		4	3	3	1			2	2	34	
	梅毒	2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	10		206	
百日咳												5													376	
麻疹																									5	
風しん										1	1			4	9	1					3				19	
計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	67		1175		
指定	新型コロナウイルス感染症																								76	
	計																								76	
新型	新型インフルエンザ													34											34	
	計													34											34	
動物	鳥インフルエンザ												1												1	
	計												1												1	
総計		61	48	67	42	51	53	47	61	189	198	258	201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	207		3794	